

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 94

2021.December



有 限 会 社
こ こ ろ
木 造 建 築
研 究 所



施設建築 事例『たちばな保育園子育て支援センター』

保育施設や障害者支援施設、集会施設など、住まい同様、安心して過ごせる空間を考え、木の心地よさを最大限に引き出した提案をしています。施設は耐震性能や防火性能に加え遮音吸音設計にも力を入れ、それらにおいても自然素材を使った提案に力を入れ、安心で心地よい施設づくりを目指しています。



改修工事 事例『NaturaliTea 椿邸』

一般社団法人 住宅医協会の改修手法を取り入れ、住まいのカルテ(建物調査)を軸とした改修設計、工事を行っています。耐震、断熱改修に力を入れる事と同時に、既存建物の良さを引き出した改修プランを提案しています。築30年~40年の住宅から、古民家や蔵の改修まで幅広く手掛けています。

2006年4月に立ち上げた「こころ木造建築研究所」も気が付けば15年の歳月が経過し、今年は16期目に入りました。振り返れば、お施主さんや職人さん、仲間など、たくさんの方々との出会いや協力があり、多くを学ばせていただいた歳月だったと思います。会社設立当初、「こころ」と言う社名の由来についてよく尋ねられました。「こころ」の文字は、法隆寺の棟梁と呼ばれた西岡常一棟梁の著書、『木のいのち・木のこころ』からいただいた社名です。社寺建築を通して大切な事を伝えている本ですが、特に感銘を受けた一文に「木を組む前に人を組め」という一文がありました。木組みを生かした仕事していく中で、技術や知識と同時に、「人を組む」良いチームづくりをする事がとても重要だと教えてくれた一文でした。魅力ある木の家をつくるのであれば、まずは良いチームづくりから始めよう。このころの社名の中に、そんな気持ちや願いを乗せながらがむしゃらに走り、気が付けば多くの信頼できる仲間にも囲まれている事を実感しています。まだまだ道半ばではありますが、今回号を通してそんな仲間たちと共にいるコロボの仕事や取り組み、思いについてご紹介したいと思います。

「板倉の家」と呼ばれる杉厚板の落とし込み構法の実践からスタートし、現在まで様々な木の家を建築させていただいています。構造や仕組みなどは一貫して同じ家を造り

続けていますが、敷地やお施主さんが違えば全く違った住まいになり、一軒一軒楽しみながら仕事をさせていただいています。従来、設計事務所は図面を書くのが本業ですが、コロボでは創業当時から設計から施工まで請負、設計者と職人が一体となった家づくりを目指しています。木の家は木材の品質を見極め、職人との会話がとても重要です。図面通りに出来れば良いとはならず、素材の適材適所での使用や細部の納まりまでこだわり、職人と共に一軒一軒手仕事を生かした家づくりを行っています。

木の家づくりは現在もスタイルを変えずに行っていますが、10年程経過した頃から少しずつ仕事に変化が出てきました。5年程前に取り組んだ、藤枝市の『青葉ひよこ保育園』での設計業務がきっかけとなり、現在では毎年1、2棟のペースで非住宅の木造施設設計を手掛けています。法律や申請、構造計画など、住宅とは違う面も多々ありますが、それらは経験していく事で解決していく事も多く、今では所属建築士が5人となり、プロポーザルや公共建築の入札なども積極的にチャレンジしています。非住宅分野は、保育施設や障害者施設、店舗や自治会館等、様々な用途に分かれ毎回新しいチャレンジが続きますが、木造建築である以上、木と職人と共にいるという事は変わりません。自社でつくる住宅と違い、毎回新しい職人さんや監督さんとのや

『こころの家@島田』明るさと暖かさと共に、広がりや安らぐ景色を取り込んだ広間。大きな窓からはたくさんの豊かさを得る事ができる。

森林と向き合い、職人と共に、木の建築をつくる。



木と共に豊かな未来をつくる。私たちは、日本の木と技を生かし、人と環境に優しい魅力ある木造建築づくりを目指しています。



ここらぼ市

毎月第一土曜日に、家づくりで発生した木材などの建築端材を無料でお分けしています。床板や壁板、時には広葉樹などの貴重な端材もあり、みなさん持ち帰って色々な作品を製作しているようです。常連さんも多く、端材でつくった作品が家のあちこちに置かれている方も少なくありません。私たちが、木を生かしていただける事に感謝です。



ここらぼスクール

建築端材を利用した木工体験を中心に、様々なワークショップや勉強会を行っています。大工、建具屋、左官屋などの職人や専門家が講師となり、各分野の専門的な仕事を知る事が出来ます。また、常連さんは職人と仲良くなり、家づくりの際はお互いの信頼関係も膨らみ、安心した家づくりに繋がっています。



kokolab通信

創業当時からスタートしたコロラボ通信、たくさんの方々に支えられ、今月号で94号となりました。コロラボの活動や木の家紹介、様々なイベントなどを発信しています。コロラボ通信に掲載しているお宅は暮らし始めてから数年経過したお宅が多く、みなさんの暮らしぶりを拝見させていただくのが私の楽しみにもなっています。もうすぐ100号、これからも応援よろしくお願ひします。



木の家相談会・木の家常設展示場オープン日

毎月第一土・日曜日に、『ここらぼの家』にて相談会と見学会を行っています。実際の木の家を見ながら建築士とじっくりと話が出るため、様々な不安が安心に変わり、家づくりの第一歩として参加していただく方が多くいます。『ここらぼの家』では、実際にキッチンでお料理したり、薪ストーブの暖かさを体験する事が出来ます。ネットや雑誌の情報だけでなく、まずは木の家を体験してみたいはかがですか？

伝える、ココラボの活動

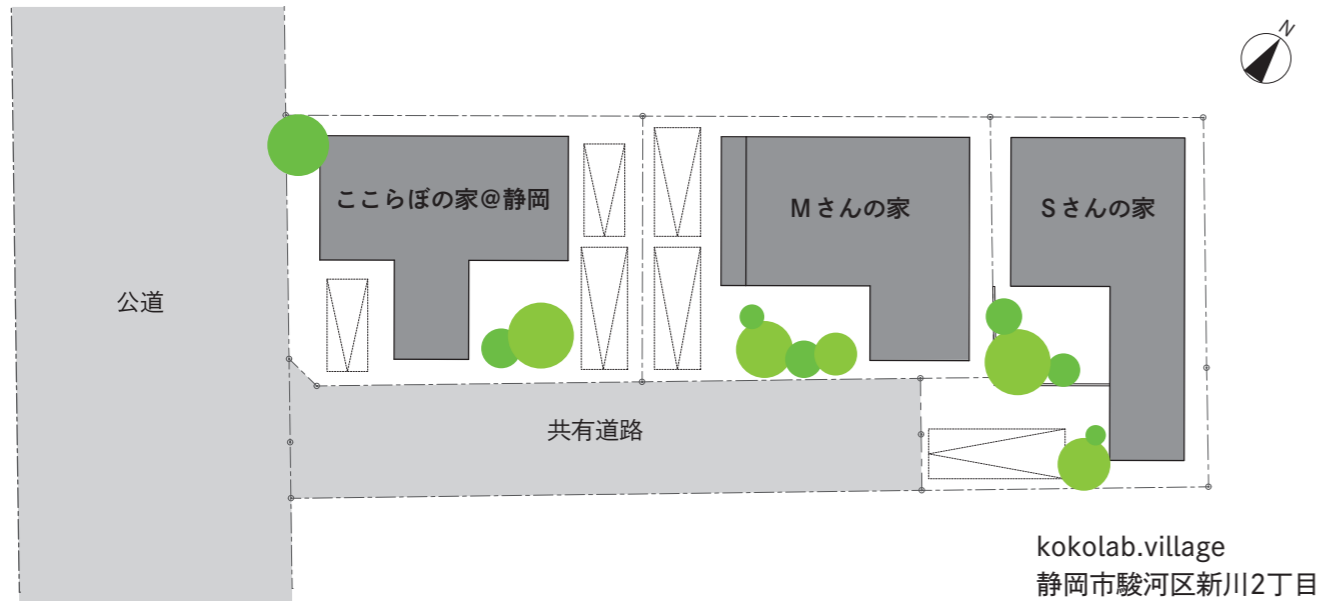
ココラボでは、つくる「事」と同時に、それらを「伝える」事にも力を入れています。木の家づくりならなんでも相談できる『木の家相談会』。家づくりは、一歩踏み出す事に疑問や不安が生まれてきます。今までの経験や知識を生かし、また、最新の木造建築事情や先進的な取り組みを学び、多くの方の疑問や不安に答えていきたいと思ひ取り組んでいます。ココラボでは木について正しい知識を知っていただきたい、もっとたくさんの人に本物の木に触れていただきたいと思ひ、講座『ここらぼスクール』の開催や、建築端材を無料でお分けする『ここらぼ市』を行っています。毎回とても好評で、木に触れる事でものづくりの楽しさを知っていただく機会になっています。当社の活動を隔月発行の『ココラボ通信』で発信しています。今月号で94号を迎え、15年の仕事や活動を見る事が出来ます。建築事例紹介やスクール報告、見学会や相談会の案内等、ココラボの全てを多くの方に知っていただき、家づくりの参考やきっかけになれば嬉しく思ひます。その他、ホームページやSNSでの発信、今後は動画を通じてもっと木造建築をわかりやすく伝えていきたいと準備しています。今後もココラボのチェック、よろしくお願ひします。

りとなりとなりますが、今まで経験してきた木の扱い方や納まり等を生かしながら木の施設をつくっています。

木の家の木の家、木の施設に続いて、数年前から木の家の改修にも力を入れて取り組んでいます。一年通して受講した「住宅医スクールの取り組みや手法に共感し、建物を患者として捉え、診断に重点をおいた改修手法は、これからの住まいにとって無くてはならない知識であり技術だと思ひます。改修は新築とは違い現在建っている建物を生かす事が重要、何を残して何をつくるのか？何かももではなく、ピンポイントでの判断が成功の鍵になると考えています。ココラボでの改修工事はまだ事例が少ないですが、耐震、断熱改修を行いながら、築30年〜40年の住宅の改修工事や、築100年近い古民家の再生改修を手掛けています。改修工事は学ぶ事も多く、先人の仕事から多くの知恵を見る事が出来ます。木の扱い方や地震への備え、現代の耐震基準とはまた違った技術ですが、木造建築の本質を見抜いた技術や、木材の耐久性、維持管理などを考慮した納まりは、マニュアル化された現代の建築技術に掛けている部分もあると思ひます。先人に学び現代に生かす、改修工事を通じて未来の木造建築を考えていきたいと思ひます。

kokolab.village・こころぼの家@静岡

2021年より計画がスタートしたKokolab village(コクラボビレッジ)、2022年の完成を目指し現在工事中です。Kokolab villageは3棟からなる小さな街づくりを提案。周辺環境にふさわしいプロポーシオンと植栽を混じえた外構計画、ライフスタイルを提案する小さなお店も計画中です。それぞれの敷地は限られていますが、適度なプライバシーと心地よい重なりをテーマに、地域にも貢献出来る豊かな街角をつくっていききたいと思います。



こころぼの家@島田

木の暮らしを体験出来る場として、2016年秋に完成。延床面積30坪とコンパクトな木の家ですが、視線の通り抜ける間取りや、中庭を取り込んだ大きな木の窓、プライバシーを確保した配置などで開放的な空間となっています。『こころぼの家@島田』は、子育てが終わった夫婦が老後を考えながらも楽しく暮らす家をイメージしています。将来を見据えたバリアフリー設計はもちろん、コンパクトな家事動線や心地よい居場所をつくるソファコーナー、広く作業性の良いキッチンなども提案しています。ちょっと贅沢な木の暮らしを体験してみたいかですか？



『こころぼの家』 木の暮らしを体験できる

2016年秋、島田事務所の近くに木の
家常設展示場『こころぼの家』が完成しま
した。『こころぼの家』は、当社のテーマで
ある「職人と共につくる」を暮らしの中に
生かしつつ、懐かしさ(伝統)と新しさ(チャ
レンジ)の混在する常設展示場です。静岡
県産材の木材をふんだんに使い、大工の手
刻みによる木組み架構を中心に、各職人た
ちとの協働でつくりあげたオリジナル仕様、
コクラボおすすめの家具や照明などを取り
入れ、心地よい暮らしを提案しています。
『こころぼの家』は見ただけだけでなく、
キッチンを使ってお料理をしたり、新ストー
プの暖かさを体験していただいたりと、木
の家暮らしをそのまま体験していただだけ
ます。誰もがはじめての事は不安になるもの、
お友達の話やインターネットでの情報収集
も大切ですが、頭で考えるより体験するこ
とで多くの不安が解消されると思います。
見た目だけでなく、肌ざわりや香り、開放
感や安心感など、その場を体験する事で不
安が安心につながり、家づくりを前に進め
ていく事が出来ます。『こころぼの家』はす
でに5年が経過し、床や壁、柱や梁などの
木の色艶も新築時とは違った姿を見せてく
れます。完成見学会では新築の綺麗な家を見
る事が出来ますが、長く暮らす住まいは

「時間の経過と共にどのように変化してい
くか」が気になります。木の変化やメンテ
ナンス、お手入れの方法など、時間を経過
した木の家だからこそ、たくさんの方に
見ていただきたい内容が詰まっています。

現代の住まいは核家族が進み、地域と
深く関わらない暮らしが増えていると感じ
ます。全く知らない土地で新しい暮らしを
スタートさせていくご家族も多く、コミュ
ニティーへの参加は大きなハードルになっ
ています。また、敷地条件が厳しくなれば
なるほど、一軒だけでは解決出来ない問題
も多々あります。日照条件やプライバシー
の問題、車の出入りや生活音の問題など、
それぞれの家族が相談し、お互い上手に暮
らしていける関係が出来たらとの思いか
ら、昨年からは新しいプロジェクトを始め
ています。静岡市駿河区に計画中の Kokolab
village(コクラボビレッジ)は、3軒の家で
つくる小さな街づくりを提案していきます。
周辺に負担を掛けないプロポーシオンや植
栽を交えた豊かな景観など、そこに暮らす
家族はもちろん、地域の方と共に心地よく
暮らしていける場をつくりたいと思います。
Kokolab villageは現在Mさんの家が完成し、
当社の展示場『こころぼの家@静岡』を建
設しています。来年にはSさんの家も完成
予定、3つの住まいからなるコクラボの提
案を楽しみにしてください。『こころぼの
家@静岡』には小さなお店も計画中。



環境に負担を掛けない建築

静岡県は豊富な森林資源をもった恵まれた地域、良質な木材だけでなく、水を始め私たちになくてはならない大切なものを育んでくれています。建築と環境の共存、木の家づくりのテーマとして、大切にしていきたいです。



木の特性を活かした板倉構法

杉の厚板を柱の間に落とし込んでつくる板倉構法。当社の代表的な構法で、静岡県産材の杉板をふんだんに使った木の家を建築しています。耐震性や防火性能に優れ、安心して心地よい木の空間をつくっています。

職人と共につくる

大工を始め、様々な職人がココラボの木の建築を支えています。それぞれが高い技能を持つことも大切ですが、お互いを思いやり、職人から職人へのパトタッチで木の家がつくられています。建築はチームワークが大切、今回号のテーマにもなっていますが、一つ一つ、一人一人の仕事を丁寧に、みんなの小さな仕事を重なり合わせて、魅力ある建築をつくっていききたいと思います。



植栽工事の様子。熟練の感性でしっかりと落ち着いた庭をつくってくれる造園屋。木の家に溶け込む自然な庭をつくってくれます。



土間の石張りの様子。鉄平石、大谷石などと落ち着いた庭をつくってくれる造園屋。木の家に溶け込む自然な庭をつくってくれます。



左官工事の様子。若い親方を筆頭に、職人仲間と大きな壁も仕上げてくれます。漆喰や土壁、洗い出しなど、日本の技を活かして仕上げます。



基礎工事の様子。まるでみんな家族の様な基礎屋チーム。基礎工事は建築のスタートになる仕事、気持ちの良い職人がいつも元気に仕事してくれま

会社概要

名称： 有限会社ころ木造建築研究所
 建築士番号：一級建築士事務所（静岡県知事登録 第 6518 号）
 建築業番号：静岡県知事許可（般-28）第 036613 号
 設立： 2006 年 4 月 12 日
 主な仕事： 伝統的な構法を主体にした木造建築の設計・施工

【静岡事務所】
 〒422-8055 静岡県静岡市駿河区新川 2 丁目
 < 移転建築計画中 >

【島田事務所・工場】
 〒427-0011 静岡県島田市東町 1047-2
 電話：0547-54-4556 FAX：0547-54-4557

【木の家常設展示場（こころぼの家@島田）】
 〒427-0011 島田市東町 1370-4

http://www.kokolab.jp
 office@kokolab.jp

ています。素材そのものだけでなく、その製作過程、また廃棄に至るまで、環境に大きな負担を掛けていないか？人が暮らす建物として、健康を害する事はないか？地域や周辺に迷惑を掛けていないか？自分よがりの建築では本当の意味でよい建築にはならず、環境や周りとの調和を大切に、未来に残していける建築をつくっていききたいと思ひます。一人一人の小さな選択がいずれ大きな現象となつて、自分に、または子供や孫に返ってくると思ひます。建築を通して、たくさんの人が長く心地よく過ごせる環境や社会をつくっていききたいと思ひます。

建築は人の手から生まれ環境と共に共存していく

木の家だけではないですが、ほとんどの建築物は人の手を通してつくられます。この当たり前がどこかに置き忘れられ、住まいを始め建物が商品としての価値だけで見られている事が多いように思ひます。性能、耐久性、デザイン、出来上がった建物の魅力はそれだけではなく、誰が、どのようにつくったのか。どんな技術で、どんな素材を使つて…特に住まいは家族と共に安心して長く暮らしていく器。大切に扱われ、つくり手の精一杯の技術でつくられた住まいに暮らしたいと思ひます。今回の特集の冒頭にも挙げましたが、ココラボの大きなテーマである「職人と共につくる」「良いチームをつくる」事を重視し、今まで多くの職人と共に仕事をしてきました。大工や左官屋、板金屋、建具屋、一人一人と毎日のように会話し、職人の人柄を知り、お互いが納得して協働していける関係をつくってききました。木の家は昨日今日の関係でつくりあげられるものではありません。設計者と職人がお互いを信頼し、また、職人同士が信頼関係を結ばれている事がよい建築をつくる大切な要素だと思ひます。よい建築を信頼できる職人をつくる事に加え、それらの行為が社会や環境に合った無理のない建築でなければならぬと思ひます。

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。
 [住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
 [TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

Lalala ♪ PLaNET plus

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

『Lalala ♪ PLaNET plus』店主くみです。今回は私の紹介です。

私は2010年から無農薬野菜の移動販売を始め、2018年に蓮華寺池公園の近くにお店をオープンしました。長い間移動販売をしてきましたので体力的にも大変になってきたこともあります。『まんさいかん』のような、朝生産者さんがお野菜を持ってきて、いつでもお客様に来ていただけるようなお店するのが夢でしたので、次のステージとしてお店を開こうと思いました。

『Lalala ♪ PLaNET plus』のこだわりは、野菜から生産者さんの顔が見える場所にする事。それぞれの生産者さんの人柄や魅力を伝えることがこだわりです！そのために生産者さんとはコミュニケーションをたくさん取ることを心がけています。一人でも多くのお客様にお野菜を『食べたい』と思ってもらえるように、簡単で美味しいレシピをすぐにご提案できるよう、各お野菜3～4種類のレシピを用意してお伝えしています。

私はお客様も生産者さんもみんなが豊かになる事を願ってお店を開きました。『豊か』とは美味しいという感情や金銭的な事です。『美味しい』はそれだけで幸せになりますよね。美味しいという感情は人生を変えてしまうくらい大きな原動力となる大事な感情だと思っています。

『金銭的な事』とは生産者さんへの対価です。私たちの日々の食(命)を担ってくれるのが生産者さんです。たくさんの種類のお野菜を作るのはとても大変で、天候で生産量や出来具合も左右されます。台風が直撃したら一晩でお野菜が無くなることもあります。

自分たちが作れないお野菜を代わりに作ってくれる生産者さんに、安価な価格ではなく正当な価格でお客様に買っていただく。お客様と生産者さんで豊かな循環を作っていく事ができればと思います。

その一環として新たに、『Lalala ♪ PLaNET plus』は宅配部を創設しました。無農薬のお野菜を食べるお客様を増やし生産者さんを増やし、藤枝・焼津・島田の地域で豊かな循環ができれば良いなと思っています。



マーボー大根

- 1) 大根はサイコロ大、生姜はみじん切りにし、弱火で香りが出るまで温める。
- 2) 香りが出たら挽き肉を炒め、色が変わってきたら大根を入れて、油が回るまで炒める。
- 3) 水をフライパンの半分程度入れ、中華だし、砂糖、みりん、醤油(後で味噌を入れるので少なめ)を入れ、大根に火が通るまで煮る。
- 4) 大根が柔らかくなったら味噌を入れてひと煮立ちさせ、水溶き片栗粉でとろみをつけて完成♪



※生姜とにんにくみじん切りを入れても美味しいです。

人参サラダ

- 1) 人参を千切りにして塩で揉み、水気をしぼる。
- 2) すりおろした人参に、すりごま、砂糖、酢、ゴマ油、お塩を入れて混ぜておき、千切りした人参を混ぜて出来上がり♪



『コロラボ設置店』より

こだわりのお店紹介

SUQ (スーク)



静岡市駿河区高松から移転リニューアルオープンしました。北欧の中古・新品家具や照明・雑貨を扱っています。また、委託販売の商品を積極的に扱っていて、とても人気があります。1階はソファ・サイドボードなど…2階は椅子・テーブル・小物など…。以前とは違った雰囲気でご紹介しています。ワークショップやフリーマーケットの開催も計画中です。是非、遊びに寄ってください。

SUQ(スーク)

静岡市葵区瀬名中央1丁目7-55
 [TEL] 054-659-3410
 [OPEN] 11:00～18:30
 [定休日] 火曜日 第2水曜日
 [URL] <https://www.suq-net.com/>

スークさんからお知らせ

移転リニューアルオープンしました。

家具の販売の他に、特注家具の製作・修理・張替えも行っています。また、レイアウトや、家具・照明選びにお悩みの方、ご相談も承っています。簡単なリフォームのご提案もしています。(無料)ご相談は、事前のご予約が確実です。図面(手書きでもOK)があると、より分かりやすいです。お気軽にご連絡下さい。



茶屋すずわ



「お茶を通して豊かな時間を」をコンセプトにお茶を暮らしの中に取り入れる提案をしています。静岡県内の茶葉を素材としたオリジナルのお茶、手仕事で作られるお茶の道具などを取り扱っております。

茶屋すずわ

静岡市葵区安西3-68
 [TEL] 054-271-1238
 [OPEN] 10:00～16:30
 [定休日] 木曜日、第2・4以外の土日
 [URL] <https://www.chaya-suzuwa.jp/>

すずわさんからお知らせ

通販サイト

いつもお世話になっている方への贈り物、ご自宅で過ごす自分だけの時間。お茶の時間は様々です。遠方の方にも手に取っていただけますよう通販サイトもご用意しています。



発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の造り
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

12月を迎え、庭のモミジも急に色づいてきました。静岡
は温暖な気候のため、紅葉が綺麗に見られるスポッ
トも少ないですが、今年は例年より色づきが良く、『こ
ころばの家』や自宅などで楽しむ事が出来ました。家づ
くりでは、植栽を交えたプランを提案するようにして
おり、アプローチや玄関先、中庭に四季を感じさせてく
れる落葉樹を提案しています。春は新緑や開花がとて
も綺麗で、日々の変化が毎日の楽しみになります。夏は
木々が涼しげな日陰をつくり、秋は紅葉を楽しみ、冬は
落葉して庭が明るくなります。毎日の生活が忙しく、ゆっ
くりと家の時間を楽しむ事が難しい現代だからこそ、
木を植えて暮らしを楽しんでいただきたいと思います。
来年はいよいよkokolab villageの完成となり、新しい
チャレンジに向けてワクワクしています。(山崎健治)



🏠 藤枝市『シキウタの家』構造見学会を行います。

藤枝市で建築の進んでいる『シキウタの家』、11月中旬に建前を行い、現在は屋根、外壁の工事を行っています。この時期は雨も少なく順調に工事が進んでいますが、住宅工事は雨に濡らさない事を前提に行い、屋根工事から外壁、室内工事へと進んでいきます。現代の住宅工法も様々となり短時間で出来上がる家づくりもあります。ココラボの行っている木の家は、大工を始め、基礎屋、板金屋、左官屋等、様々な職人の手でつくられていくため、約半年の工期をいただいています。今回の見学会は内部の構造が見える状態となりますので、板倉構法の仕組みについて詳しく説明させていただきたいと思えます。

◆ 日時：2022年1月中旬(日) 10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：藤枝市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、
何でもご相談ください。

◆ 日時：1月8・9日(土・日)

2月5・6日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家』

🏠 こころばの家オープン日

コロナウィルス対策として予約制で行います。
ご希望の日時をご連絡ください。



こころばスクール2021

ご好評いただいております木工ワークショップを今年も開催します。今年は少し形を変えて行っており、第二回はベテラン向けの「自由にどんどん作ろう!」をテーマにしたコースになっています。

ベテラン向けの参加者にはどんどん自分のペースで進めてもらい、必要に応じてアドバイスさせていただきます。こころばの家づくりで出た端材ですので、サイズやデザインもその場で臨機応変。試行錯誤しながら楽しんで参加していただければと思います。もちろんわからないことは大工さんとこころばスタッフがアドバイスいたします。



なお参加人数を少し減らしての開催を予定しておりますので、気になった方はお早めにお申込みください。先着順でお受けいたします。みなさんは是非ご応募ください。

※道具はこちらで貸出いたします。筆記用具のみご準備ください。

◆ 開催日時：2022年1月30日(日) 9:00~16:00

◆ 場 所：こころば刻み小屋(島田市東町1047-2)

◆ 参加費：5000円/1家族(保険代・材料代等を含む)

◆ 対 象：小学生以上(中学生以下は保護者同伴)

◆ 募集人数：4組(1組4名様まで)

◆ 申込締切：1月20日(木)まで

申し込み方法

「こころば公式LINEの申込フォーム」または「E-mail」のいずれかでお申込みください。申込完了後、詳細のご案内をさせていただきます。

[E-mail] office@kokolab.jp

[公式 LINE]

LINEアプリのコードリーダーで、右のQRコードをスキャンしてご登録ください。

お友だち追加の後、お名前をお送りいただくと登録完了となります。

こころばスクール申込みフォームよりご連絡ください。

